

★学校教育目標 ◎ よく考える子 ◎ 思いやりのある子 ○ 体をきたえる子 ○ 最後までやりぬく子		★重点計画の概要 ①確かな学力の育成……授業のユニバーサルデザインの視点を取り入れ主体的・対話的で深い学びの実践を行う。 ②豊かな人間性の育成……思いやりの心を育み、社会生活の規範を身に付ける。学級環境を整え居心地のよい学級を作る。 ③健康・体力の向上……学期ごとの重点取り組みを通して体力の向上を図る。家庭と連携して基本的な生活習慣を身に付ける。 ④開かれた学校・特色ある学校・安全な学校・社会人講師を活用し、英語活動・地域(ふるさと)学習を進める。
★目指す学校像(ビジョン) 【めざす児童・生徒像】 ・よく考える子(知育) ・思いやりのある子(徳育) ・体をきたえる子(体育) ・最後までやりぬく子(知・徳・体が育つ基礎) 【めざす学校像】 ・子供たちが、粘り強く学び合い、成長する学校 ・教職員が、熱意とプロ意識を持って実践する学校 ・学校・保護者・地域が、それぞれの役割を果たし連携し合う開かれた学校 【めざす教師像】 ・努力する心身共に健康な教師・子供から学ぶ謙虚な教師・プロ意識を持った教師・誠実で礼儀正しく、人間性豊かな教師・教職員・保護者・地域と連携し、児童の育成にあたる開かれた教師		

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策					
豊かな人間性の育成	思いやりの心を育み、生命尊重の精神を育成する。	全教育活動を通じて道徳教育を推進し、豊かな心の育成を図る。また、児童・生徒の主体的・協働的な学習を取り入れ、生命の尊さを美感的に学べるようにする。	・居心地のよい学級を作るために日常の学習や生活場面だけでなく、学期に2回のアンケート調査を基に子供たちの声に耳を傾ける。 ・日頃の児童の様子を見取り週1回の支援委員会を中心に、特別支援教育を組織的に進めていじめる・不登校の未然防止・早期解決を目指す。	4 95%以上の教員が児童理解に努めたか	4 児童アンケートで「学校は楽しい」と答える児童が、90%以上			
			・学習形態を工夫し、「考え、議論する道徳」授業を行い、道徳的判断力、心情、実践意欲の育成を図る。 ・道徳教育充実のために「書く活動」を取り入れ、自己肯定感を高め、命の尊さを感じ自他を大切にすることを養う。 ・異学年、通常の学級、ひばり学級、特別支援学校、保育園との交流や副籍交流を通して、互いを認め合い相手の立場に立つて考えられる態度を身に付ける。	3 90%以上の教員が児童理解に努めたか	3 児童アンケートで「学校は楽しい」と答える児童が、80%以上			
				2 80%以上の教員が児童理解に努めたか	2 児童アンケートで「学校は楽しい」と答える児童が、70%以上			
				1 80%未満の教員が児童理解に努めたか	1 児童アンケートで「学校は楽しい」と答える児童が、60%以上			
				4 95%以上の教員がいのちの大切さについての授業を行ったか	4 児童アンケートで「思いやりや命の大切さをよく学んだ」児童が90%以上			
				3 90%以上の教員がいのちの大切さについての授業を行ったか	3 児童アンケートで「思いやりや命の大切さをよく学んだ」児童が80%以上			
				2 80%以上の教員がいのちの大切さについての授業を行ったか	2 児童アンケートで「思いやりや命の大切さをよく学んだ」児童が70%以上			
				1 80%未満の教員がいのちの大切さについての授業を行ったか	1 児童アンケートで「思いやりや命の大切さをよく学んだ」児童が70%未満			
			学び	思考力、判断力、表現力を育成するために、全教科・領域で言語活動を充実させ、主体的・対話的で深い学びを実現する。	確かな学力の育成のために全教科・領域で「話す・書く」活動を取り入れ、自分の考えをもち、伝え合い・学び合う学習を行う。	・国語科の読む領域を通してユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業を行い、全員参加・全員理解から自分の考えをもち、自分に合った学び方を選んで、論理的思考力や書く力などの表現力を向上させる。	4 95%以上の教員がユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業を行ったか	4 児童アンケートで「授業がわかりやすい」児童が90%以上
							3 90%以上の教員がユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業を行ったか	3 児童アンケートで「授業がわかりやすい」児童が80%以上
	2 80%以上の教員がユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業を行ったか	2 児童アンケートで「授業がわかりやすい」児童が70%以上						
	1 80%未満の教員がユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業を行ったか	1 児童アンケートで「授業がわかりやすい」児童が70%未満						
・児童から問いのできる発問を工夫して(Which型課題)児童が考えをもつ場面をつくり、対話を通して自他の考えを比較しながら互いに考えを深め合う学習を展開する。	4 95%以上の教員が児童が考えをもつ授業づくりに計画通り取組むことができたか	4 児童アンケートで「自分の考えを伝えられる」児童が90%以上						
	3 90%以上の教員が児童が考えをもつ授業づくりに計画通り取組むことができたか	3 児童アンケートで「自分の考えを伝えられる」児童が80%以上						
	2 80%以上の教員が児童が考えをもつ授業づくりに計画通り取組むことができたか	2 児童アンケートで「自分の考えを伝えられる」児童が70%以上						
	1 80%未満の教員が児童が考えをもつ授業づくりに計画通り取組むことができたか	1 児童アンケートで「自分の考えを伝えられる」児童が70%未満						
地域・ふるさと	地域教材・人材を活用し、体験的・課題解決的な学習を通して、地域や学校に対する誇りと愛する気持ちを育て、地域のために役立つようとする意欲を育てる。	地域の人と出会い・関わり合いながらわくわくが広がっていく環境をつくり、生活科・総合的な学習の時間のふるさと学習『日野大好きプロジェクト』を充実させる。				・年間指導計画を作成し、学年の発達段階に応じて、地域教材・人材を活用した学習を行う。 ・地域への関心を高め、学習したことを地域へ発信・還元ができる学習活動を展開する。	4 95%以上の教員が地域と結びついた学習を行うことができたか	4 児童の成果物で「地域に対して発信や還元ができています」児童が90%以上
							3 90%以上の教員が地域と結びついた学習を行うことができたか	3 児童の成果物で「地域に対して発信や還元ができています」児童が80%以上
				2 80%以上の教員が地域と結びついた学習を行うことができたか	2 児童の成果物で「地域に対して発信や還元ができています」児童が70%以上			
				1 80%未満の教員が地域と結びついた学習を行うことができたか	1 児童の成果物で「地域に対して発信や還元ができています」児童が70%未満			
			・ふるさと学習『日野大好きプロジェクト』に全学年・学級をあげて生活科・総合的な学習の時間で取り組む。 ・総合的な学習の時間では、自ら課題を設定し探究に取り組み、課題解決学習を展開する。	4 95%以上の教員が課題解決学習を行うことができたか	4 児童アンケートで「ふるさと学習『日野大好きプロジェクト』の時間は楽しい」児童90%以上			
				3 90%以上の教員が課題解決学習を行うことができたか	3 児童アンケートで「ふるさと学習『日野大好きプロジェクト』の時間は楽しい」児童80%以上			
				2 80%以上の教員が課題解決学習を行うことができたか	2 児童アンケートで「ふるさと学習『日野大好きプロジェクト』の時間は楽しい」児童70%以上			
				1 80%未満の教員が課題解決学習を行うことができたか	1 児童アンケートで「ふるさと学習『日野大好きプロジェクト』の時間は楽しい」児童70%未満			
			健康・体力向上	体力の向上の推進を図り、心身共に健康な子供の育成を推進する。	学期ごとに重点取組を設定し、体育の授業や遊びの時間で体を動かす楽しさを実感できるようにする。	・休み時間の外遊びを奨励すると共に、体育の授業に日常の遊びの充実につながる運動を取り入れて体育の授業の充実を図る。 ・体力向上週間を学期ごとに複数回設定し、体育の時間以外にも積極的に運動に親しむ態度を育てる。 ・オリンピック・パラリンピアンや社会人講師を招き、運動の楽しさを体験する機会を設ける。	4 95%以上の教員が積極的に運動に親しむ機会を設けることができたか	4 児童アンケートで「体を動かすことが好き」な児童が90%以上
							3 90%以上の教員が積極的に運動に親しむ機会を設けることができたか	3 児童アンケートで「体を動かすことが好き」な児童が80%以上
	2 80%以上の教員が積極的に運動に親しむ機会を設けることができたか	2 児童アンケートで「体を動かすことが好き」な児童が70%以上						
	1 80%未満の教員が積極的に運動に親しむ機会を設けることができたか	1 児童アンケートで「体を動かすことが好き」な児童が70%未満						
生活	言語環境を整え、社会生活の規範を身に付ける。	日常生活の中で、あいさつや言葉遣い、～さんを意識しながら相手の立場や気持ちに寄り添った言動を身に付け、適切に実行できるようにする。				・各学級の授業や活動の中で言語環境を整え、あいさつや場に応じた適切な言葉遣いができるように指導する。 ・目標の達成を学級ごとに評価する。	4 95%以上の教員があいさつや言語環境を整えるよう努めたか	4 児童アンケートで「返事や気持ちのよいあいさつができた」児童が90%以上
				3 90%以上の教員があいさつや言語環境を整えるよう努めたか	3 児童アンケートで「返事や気持ちのよいあいさつができた」児童が80%以上			
				2 80%以上の教員があいさつや言語環境を整えるよう努めたか	2 児童アンケートで「返事や気持ちのよいあいさつができた」児童が70%以上			
				1 80%未満の教員があいさつや言語環境を整えるよう努めたか	1 児童アンケートで「返事や気持ちのよいあいさつができた」児童が70%未満			
			特別活動	集団の一員としての大切なことはみんなで話し合い、ルールを決めて自分たちで責任をもって行動し、学校をよりよくしようとする態度を育てる。	活動に対して、めあてを明確にして計画を立て、役割を分担して協力して取り組めるようにする。	・様々な活動(委員会・クラブ・学級活動)や行事に対して、児童の発想を大切にしながら明確なめあてをもたせて取り組ませる。 ・学級会などの話し合い活動を通して、合意形成や意思決定をどのように行うっていくかということを大切に話し合いの進め方を学べるようにする。	4 95%以上の教員が対話を大切にしながら教育活動に取り組めたか	4 児童アンケートで「めあてにむかってみんなと協力して行事に取り組むことができたか」児童が90%以上
	3 90%以上の教員が対話を大切にしながら教育活動に取り組めたか	3 児童アンケートで「めあてにむかってみんなと協力して行事に取り組むことができたか」児童が80%以上						
	2 80%以上の教員が対話を大切にしながら教育活動に取り組めたか	2 児童アンケートで「めあてにむかってみんなと協力して行事に取り組むことができたか」児童が70%以上						
	1 80%未満の教員が対話を大切にしながら教育活動に取り組めたか	1 児童アンケートで「めあてにむかってみんなと協力して行事に取り組むことができたか」児童が70%未満						